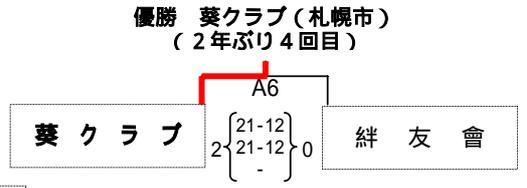
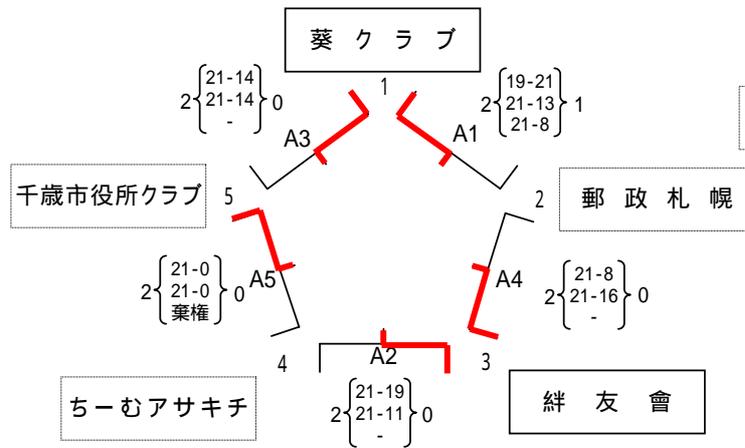


第24回 9人制選手権大会

平成18年11月19日(日) 札幌市白石区体育館

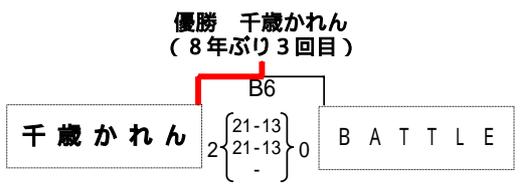
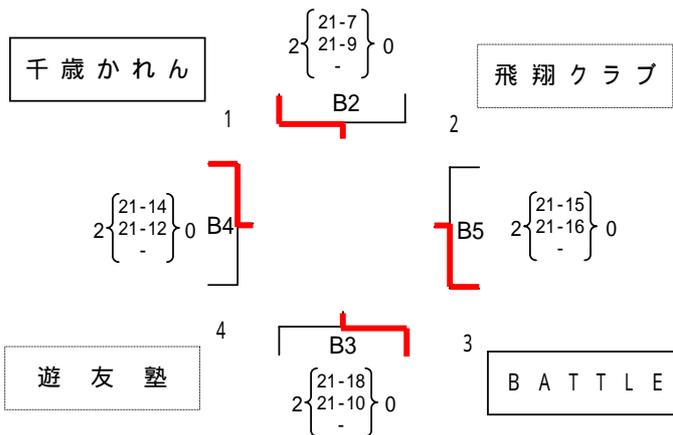
大会長：吉川 貴盛
 大会委員長：高橋 克徳
 競技委員長：對馬 文治
 審判委員長：沖中 英樹
 総務委員長：沓沢 幸一

【男子の部】



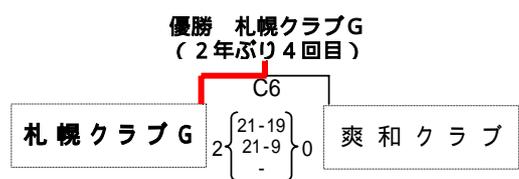
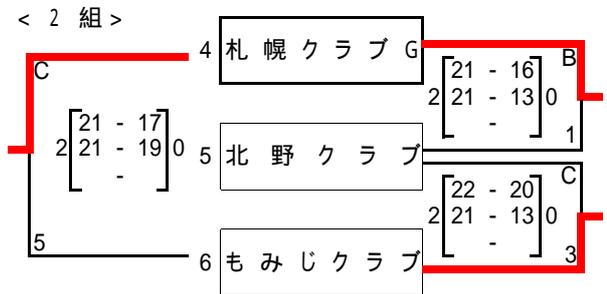
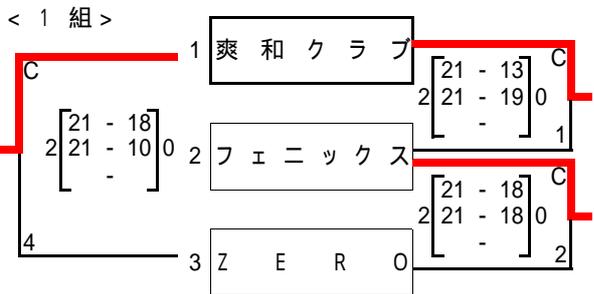
戦評(9人制男子決勝戦)1セット:序盤、葵クラブは11番山下の効果あるサーブ及びサーブポイントにより6-0とリードする。中盤以降、葵クラブは5番奈良、10番菊地の両エースの活躍と14番小川のサーブポイントで点数を引き離す。絆友會も13番丸山、12番田垣の両エースで反撃するが、最後までサーブレシーブが安定しないまま、葵クラブが21-12と先取した。
 2セット:序盤、絆友會は14番東藤の高さある攻撃と12番田垣の力強いアタックで一進一退の展開が続くが、1セット同様にサーブレシーブが安定せず波に乗れない。中盤、絆友會は9番香川の連続サーブポイントで9-7と引き離そうとするが、葵クラブは持ち前の粘り強いレシーブと4番木村の巧みなトスワークで再逆転する。終盤、葵クラブは4番木村のブロックポイントなどで21-12と勝利し、2年ぶり4回目の優勝を飾った。

【女子の部】



戦評(9人制女子決勝戦)1セット:序盤は一進一退の展開であったが、中盤から千歳かれんの拾ってつなぐバレーでリードする。BATTLEは9番三浦、2番本田の両エースにボールを集めるが、千歳かれんの多彩な攻撃が決まり21-13と先取する。
 2セット:序盤は互角の戦いをしても、中盤、BATTLEのレシーブミスによりリードを許す。終盤も千歳かれんはセンター中心の多彩な攻撃が続き、21-13と勝利し、8年ぶり3回目の優勝を飾った。

【4号球の部】



戦評(9人制4号球決勝戦)1セット:序盤は一進一退の攻防が続き、中盤から札幌クラブGがブロック、サーブ等でリードする。爽和クラブも追い上げて粘るが、札幌クラブGが逃げ切って21-19と先取する。
 2セット:スタートから爽和クラブのレシーブのミスにより札幌クラブGがリードし、終盤まで点差は広がる一方の試合となる。最後まで札幌クラブGの好プレーが続き、21-9と連取し、2年ぶり4回目の優勝を飾った。

【成績結果】

男子の部 優勝 葵クラブ(札幌市) 準優勝 絆友會(札幌市) 3位 千歳市役所クラブ

女子の部 優勝 千歳かれん 準優勝 BATTLE(札幌市) 3位 遊友塾(札幌市)

4号球の部 優勝 札幌クラブG 準優勝 爽和クラブ(江別市) 3位 飛翔クラブ(札幌市) もみじクラブ(石狩市) フェニックス(石狩市)